

地域づくりプロジェクトの企画・立案・協力

舟橋村との連携による協働型地域づくり

3

地域づくり包括連携協定の締結

●日本一小さな村の挑戦

富山大学と舟橋村の連携による地域づくりの取り組みは、平成19年8月、村民憲章策定に関する富山大学への協力依頼の打診について、舟橋村長の命を受けた村職員の突然の相談訪問から始まりました。ここでの熱意を受けて、富山大学では五福・杉谷・高岡各キャンパスが連携しながら、村民憲章策定に際しての住民ワークショップ運営支援や、憲章草稿案に対するアドバイスなどを実施しました。村職員との打ち合わせには回を重ね、協働型まちづくりの事業目標を摺り合わせていきました。

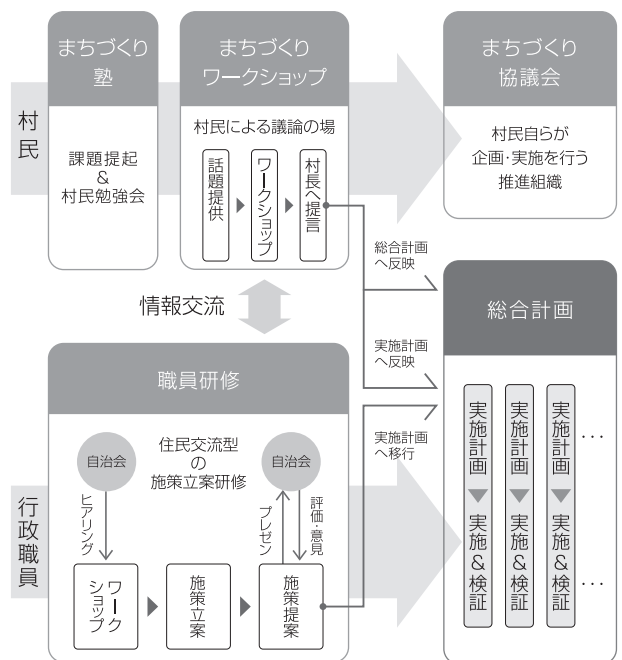
この取り組みは、行政ばかりでなく、村民にも取り組みの新鮮さとその成果が実感できたことから、村のまちづくり事業全般へと取り組みを広く波及させるべく、平成20年2月に、組織的連携による協働型地域づくりへの挑戦を目的に「地域づくり包括連携協定」を締結しました。平成20年度は試行的な取り組みとして「まちづくり協議会」「ふなはしまちづくり塾」「職員および議員研修等による地域づくりを支える人材育成」「計画策定、まちづくり事業展開への側面支援」等を展開し、制度設計を含む仕組みづくりを行いました。平成21年度より、富山大学にて研究員を雇用し、本格的に協働型地域づくりを展開しました。



計画の概要

舟橋村と富山大学の連携事業では、大学の有する専門的知見や人材育成のノウハウを活用しながら、協働型まちづくりの展開を促進することができます。村民のみならず、行政職員も含む地域構成主体がテーマを共有し、双方の意識改革と協働型まちづくりへの参加を目指しています。

特に村民に対する取組みでは、村民のまちづくりへの意識を促しながら有意な人材を発掘し、協議参加のきっかけを提供し、持続的な活動組織を組成することを目的としています。



※平成21年度の実施計画から抜粋

●まちづくり塾

舟橋村民の意識の芽生えを促し、次なる舟橋村協働型まちづくりの核となる人材発掘に向け、協働型住民育成のための勉強会として実施しています。

●まちづくりワークショップ

まちづくり塾の受け皿として、村民の意見討議の場を提供します。事前アンケートをもとに課題と解決策を議論し、課題認識の共有化のもと地域活動への住民参加を促進します。

●まちづくり協議会

まちづくりワークショップで顕在化した行動意欲を具現化させ、住民を主体とする自律的活動組織の育成を目指します。

●職員および議員研修

舟橋村のまちづくりの推進を下支えする舟橋村職員および議員のスキルアップを目的に、実践的なテーマを掲げての研修を実施しています。

平成21年度 総合計画策定に向けた村民提言

平成21年度は、次年度に控える「第4次総合計画」策定を契機に、村民視点で地域課題を検証することに取り組みました。

● ふなはしまちづくり塾

事前アンケートを実施し、村民意識の現状把握を行い、「総合計画の意義」と「住民参加型まちづくり」への理解を深めるための勉強会として開催しました。



日 時：平成21年12月7日 19時00分～21時00分

参加者：舟橋村民 約50名

テーマ：「総合計画策定に向けて地域の課題を考える
～あなたが舟橋村で取り組んでほしいことは何ですか?～」

講 議：「市町村における総合計画の役割と住民参画の意義」
富山大学 経済学部 小柳津英知 准教授
「協働型まちづくりの現状」
富山大学地域連携推進機構 地域づくり・文化支援部門 金岡省吾 教授

● 舟橋村まちづくりワークショップ

総合計画に村民の意見を反映させることを目指し、公募によって集まった村民によるワークショップを実施しました。取りまとめられた提言は、ワークショップに参加した村民自らが村長に説明し、懇談会では活発な意見交換が行われました。



日 時：平成21年1月～3月 全4回 10時00分～16時00分

参加者：舟橋村住民10名

(第1回) オリエンテーション&ワークショップ

(第2回) ワークショップ

(第3回) 提言書のとりまとめ

(第4回) 村長への提言説明・村長懇談会

平成21年度 職員研修による人材育成

舟橋村職員の施策立案スキルの向上と「協働型まちづくり」への意識形成を目的に職員研修を実施しました。当年度は、特に住民との交流型を重視し、自治会からの参加も得て、住民へのプレゼンテーションと施策案評価を頂きました。



日 時：平成22年2～3月 全3回 8時30分～16時30分

参加者：舟橋村若手職員 13名

(第1回) オリエンテーション&ワークショップ
富山大学による講義、話題提供、自治会代表者からのヒアリング

(第2回) グループワーク
2班に分かれ、ワークショップ形式の討議、発表

(第3回) プレゼンテーション
自治会代表者へ施策案のプレゼンテーション、評価・意見交換会

成果と展望

村民にむけた取り組みにおいては、「『第4次総合計画』策定に向けた住民提言」がまとめられ、地域づくりへの住民意見が提示されるとともに、地域が共有すべき課題が整理され、「近隣公園オレンジパーク舟橋の運用改善」、「村民による舟橋村の魅力再発見と情報発信」などといった、今後取り組むべき新たなテーマが抽出されました。また、職員研修では住民を交えて、ヒアリング、プレゼンテーション、そして住民評価という、厳しい体験となりましたが、今後の「協働型まちづくり」を実践する一歩として大きな収穫がありました。

参加者のコメント

村民からは「楽しくて勉強になった」「舟橋の自然、住みやすさを実感した」「みんなでつくる舟橋村になって、未来へ向かっていきたい」などの感想や、「提言書の実行できる部分から取組んで欲しい」「村民の意見を聞き、村民を大切にする市政を」などといった要望が寄せられました。